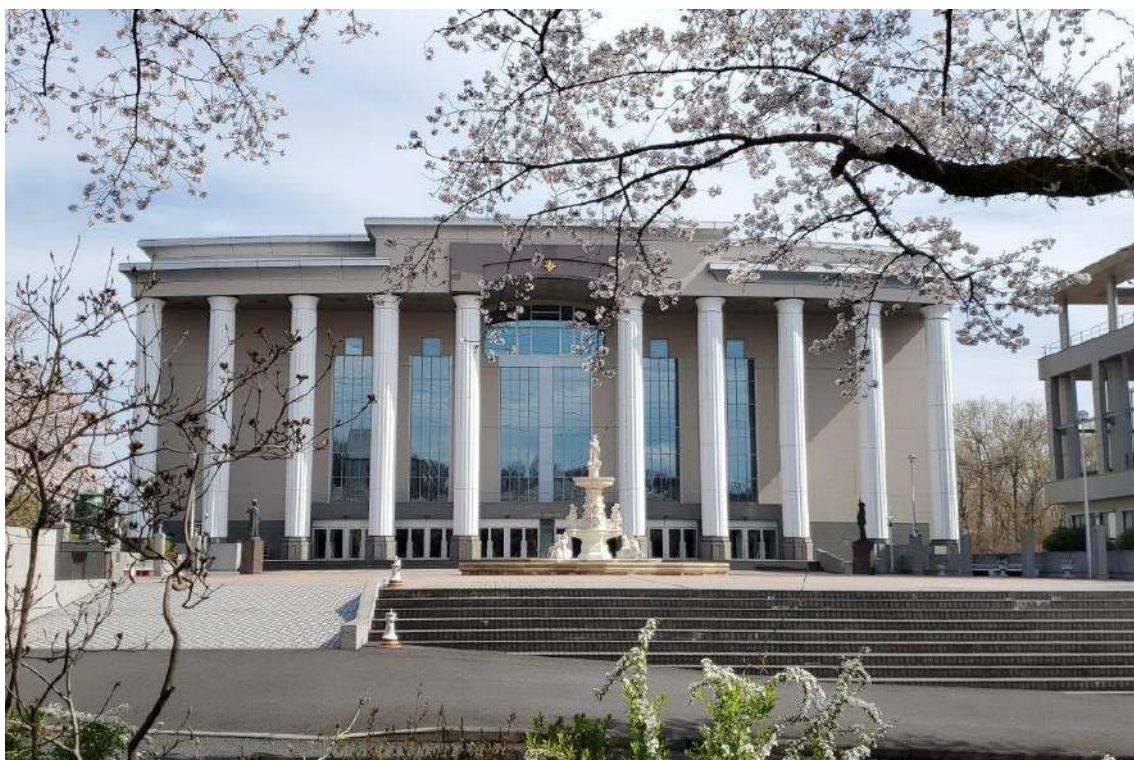


【日本の大学】第66回——創価大学：世界市民の育成目指す

創価大学は、仏教系の宗教法人である創価学会系の私立の総合大学で、1971年に創設された。建学の精神としては、「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設の揺籃たれ」「人類の平和を守るフォートレス（要塞）たれ」の3点を掲げるとともに、教育目標として、地域社会や地球社会の課題と真摯に向き合い、人々の幸福と世界の平和の実現に貢献する「創造的人間」すなわち、価値創造を実践する「世界市民」の育成を目指すとしている。

創価学会は日蓮仏法を信仰する宗教法人であり、その第3代会長の池田大作氏によって、東京の郊外、八王子市舟木町に開学した。同じ創価学会系の高校として創価高等学校（東京都小平市）、関西創価高等学校（大阪府交野市）があり、両校からの進学者が多数を占める。在籍者の大半が創価学会の会員であるが、会員ではなくても、在籍、卒業が可能である。



池田記念講堂

以下、創価大学のホームページなどから、大学の歩みや現状をみていこう。

1971年の創設時は、経済、法、文の文系3学部でスタートした。4年後の1975年には3学部の大学院研究科（修士課程）が開設された。その翌年の76年には経営学部、教育学部も誕生、経済学部と法学部の通信教育部も開かれた。（通信教育部の教育学部開設は82年）



正門

文・理 8 学部の総合大学

1985年には創価女子短期大学（経営科、英語科）を開学、1987年には米国に、創価大学ロサンゼルス分校（現アメリカ創価大学）を開校している。文学部は、英文学科、社会学科の2学科だったが、1988年に人文学科が加わり、90年には、日本語日本文学科と外国語学科（中国語専攻とロシア語専攻）が開設されている。

1991年には、理系の工学部が開設された。情報システム学科と生物工学科の2学科で発足した。2003年には、新たに環境共生工学科を開設し、既存の2学科の名称を情報システム工学科、生命情報工学科に変更した。また、2015年には、工学部の名称を理工学部に変更するとともに共生創造理工学科を設置、生命情報工学科と環境共生工学科の学生の募集を停止した。現在は、情報システム工学科と共生創造理工学科の2学科体制となっている。

2013年には看護学部の看護学科がスタートし、翌14年には国際教養学部(国際教養学科)が開設されている。現在は、8学部と、文系大学院(5研究科)、理工学研究科3専攻(情報システム工学、生命理学、環境共生工学)を擁している。



文学 A 棟

国際的に活躍する人材育成

経済学部では、2001年度からインターナショナル・プログラム（IP）を開始するなど、英語力の向上や国際的なコミュニケーション能力を持った人材養成に力を入れている。英語力を段階的に高めていくことによって、IP受講が可能となる仕組みだ。IPで英語力を高めていくことで、さらに英語による授業だけで卒業単位を満たせる SUCCEED Programへと進んでいくことが可能である。基準を満たせば、日本人も世界から集まった留学生と英語で経済学を学習していく留学に近い環境で学ぶことができる。

2年次後期からは、コースを選択して履修登録する。選択したコースが指定するクラスター（科目群）の中から18単位を修得することが義務付けられている。クラスターは四つあり、「経済理論・統計学」「現代経済」「グローバル地域経済」と、英語による講義だけで構成される「SUCCEED」に分かれて学んでいく。



中央教育棟

経営学部は、新しい時代をグローバルに活躍するビジネスリーダーの養成を目指している。国際感覚を身につけたプロフェッショナルな人材の養成を目的とした「グローバルプログラム (GP)」を設けている。三つのコースがあり、「グローバル・ビジネス・リーダー学修コース」、「プロフェッショナル学修コース」、「地方創生ビジネス学修コース」に分かれ、学修を進める。

法学部は四つのキャリア・コースで学びを進める。グローバル時代をリードする法律家を養成する 25 名選抜の特別プログラムである「リーガル・プロフェッショナルコース」、国内外の大手企業への就職、ビジネス法務のスペシャリストを目指す「ビジネス法務コース」、人につくし、社会に貢献する「公共政策・行政コース」、地球的諸問題の解決に貢献するグローバルリーダーを養成する「地球平和共生コース」がある。

文学部は 2007 年度に従来の 5 学科 7 専修を改組して人間学科 1 学科とし、現在は九つの専攻分野を設けている。即ち、「異文化コミュニケーション (英語)」「異文化コミュニケーション (日本語)」「異文化コミュニケーション (中国語)」「異文化コミュニケーション (ロシア語)」「哲学・歴史学」「表現文化」「国際日本学」「社会学」「社会福祉専修」である。あ

らゆる学問の基礎となる「人間学・人間教育」を深く学びながら、学生の希望、目的や時代のニーズに、フレキシブルに対応できる体制を取っている。

教育学部は現在、教育学科と児童教育学科の2学科の体制である。教育学科では、教職を目指す人だけでなく、行政や国際的な舞台で教育に関する業務を行うことを目指す人にも対応している。教育学コース、心理学コース、国際教育コースが設定されている。児童教育学科では、教職課程、特に、小学校や幼稚園の教員を目指すための授業内容が多く含まれている。



本部棟

専門科目をすべて英語で

国際教養学部は、実践的な英語能力と異文化理解力を身につけ、21世紀に求められているグローバルな人材を育成する。1年次の修了後に学部の学生は全員、1 Semester（4～5か月）の海外留学生活を経験する。留学中の現地大学の授業料は免除となり、渡航費用も大学が負担する。「国際性」「幅広い教養」「実践力」を養成し、世界を自分自身のステージにできる人材を育てていく。学部の専門科目はすべて英語で行っている。

看護学部では、人材養成の目的として「生命の尊厳を基調とし、生命力を引き出す慈愛の

看護を実践できる人材の育成」と定めている。このために「知力」と「人間力」を養成すること、「創造的な看護実践能力」を育成すること、そして、「グローバルマインドを持った看護師の育成」を三つの目標として掲げている。

大学は、2014 年度に文部科学省のスーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の採択を受けた。海外の卓越した大学との連携や大学改革によって徹底した国際化を進め、世界レベルの教育研究を行う大学に重点支援を行うとの主旨で設けられた制度である。大学では四つの具体的な取り組みをしている。(1) 学生の海外派遣・受け入れの拡大を通じてキャンパスのグローバル化を図る (グローバル・モビリティ) (2) 「創造的世界市民」を育成する学部・大学院教育プログラムのグローバル化を図る (グローバル・ラーニング) (3) 大学の運営体制や決定手続きのグローバル化を図る (グローバル・アドミニストレーション) (4) 大学の運営体制や決定手続きのグローバル化を図る (グローバル・コア) ——である。

こうした方針に基づいて、いくつかの取り組みを進めている。その一つが、国連アカデミック・インパクトである。国連による、世界の大学などの高等教育機関との連携を推進する取り組みに参加している。



キャンパス風景

国際交流への取り組みとしては、世界の5大陸にまたがる63か国・地域の227の大学と交流協定を結んでおり(2021年11月末現在)、年間延べ200名程度の学生の留学交換を実施している。こうした交換制度のほかにも、ダブルディグリーコース(4年間で二つの大学の学位を取得できる)、短期海外研修、海外インターンシッププログラムなどの海外修学体

験の機会を設けている。海外からの留学生は現在、55 の国・地域から約 500 人が学んでおり、これは学生の 10%弱に当たる。

大学の学生数は学部が 6505 名、大学院生を含めると 6895 名である。男女比はほぼ半々である。大学の専任教員数は 363 名。(以上 2022 年 5 月現在)

大学の理事長は田代康則氏、学長は鈴木将史氏である。学長の鈴木氏は、東京大学理学部数学科卒。同大学院博士課程単位取得満了退学。創価大学には 2007 年教育学部教授となり、2012 年教育学部長、2020 年副学長。2022 年から現職。専門分野は、確率論、算数・数学教育、発展途上国の数学教育である。



2022 年卒業式

日文：滝川 進
写真：創価大学 HP&FaceBook